

ブライダル業界に新発想、 ぶれない言葉で一丸経営

株式会社レック (KSGグループ)



代表取締役
高橋 泉氏

婚礼時の自然な表情を撮影し形にする「デザインアルバム」、格安挙式の「小さな結婚式」、電報料金を大幅に下げた「e-denpo」…。(株)レックが繰り出す事業はどれも利用者が潜在的に待ち望んでいたサービスを事業化したものばかりだ。代表取締役の高橋泉氏を事業に突き動かす原動力は「阪神・淡路大震災で傷んだ神戸から元気を世界に発信したい」との思いだ。

阪神・淡路大震災が転機に 「同じ散るなら華々しく散ろう」

96年1月、悲壮な覚悟で始めた新たな事業は、新郎新婦の挙式の1日を追って写真を撮影しきれいなアルバムに仕立て上げる「ブライダルフォトアルバム」。結婚式

の写真といえばスタジオで撮影する記念写真と相場が決まっていた業界への挑戦状とも言える新ビジネスだった。

前年の阪神・淡路大震災で、神戸市内に展開していたパーティドレスレンタル、エステを展開するビルは全半壊。倒産を覚悟するほど打ちひしがれた。だが、世界から被災地・神戸に温かい支援の手が差し伸べられたことへの強い感謝の念がエネルギーに変わった。「神戸から夢と希望を持った会社が立ち上がる姿を世界の人に見てもらいたい。それが恩返し」。

新婦は必ずこんな写真を求めているはず、との確信を持って北野に拠点を構え、周囲の業者に協力を呼びかけたが、「そんな写真が受け入れられるはずがない」とあしらわれた。ある日、結婚情報誌に広告を出したところ、一気に火がついた。「やっぱり皆が求めているサービスだったんだ」。

大きな自信になった。

3つのルール

そこから新規事業を起こす時の「3つのルール」が生まれた。時代の流れに逆らわないこと、社会的価値があること、誰も手をつけていないこと、だ。そして生まれたのが「小さな結婚式」の事業。「結婚式にお金をかけたくない人、お金をかけられない人が増えてくると思いま



自然な表情を集め、好評のブライダルフォトアルバム



いち早くニーズを捉えた「小さな結婚式」



さまざまなハードルを乗り越え軌道に乗せた「e-denpo」

した。中でもバツ1、バツ2の人は派手に結婚式を挙げられない。そういう人たちのニーズが必ずあると思った。

人前式でドレス、タキシード、ヘアメイク、写真1ポーズ1式で4万8千円(現在は6万7千円)。タウン誌に広告を載せたところ、200件を超える電話がかかってきた。業界では、少子化でますます挙式数が減るといふ悲観論が漂う中で、ここでも発想の転換が光った。店舗を作るたびに投資が伴うため当初は赤字が続いたが「歯を食いしばり」、5、6店舗目で黒字にこぎつけた。「社員はしんどいと思うが、やりがいは感じてくれている」。

「夢と希望のある会社」。その実現のためには数字を追うだけではなく「お客様のために知識を人を幸福にする知恵に変えられる」社風をつくっていかねばならないと考えている。

98年、金融業界の破綻が相次ぎ、業界が沈滞ムードに沈んでいたころ、社員を集めて「うちはリストラもしないし給料も下げない」と宣言し、売り上げ倍増を誓った。「ただし」と続けた。「会社という綱にぶら下がっている人はぶら下がるのをやめてください。綱を引いているふりをしている人はちょっとだけ力を入れてください。必死で引いてくれている人はもう少し引っ張って

ください」。場は水を打ったように静まり返った。「初めて本音を社員にぶつけてから、会社が変わった」。

今、事業部ごとに権限を部門長にゆだね、「自分の役割はレックで働く意味、思いを常に発信すること」と考えを定め、イントラネットを通じて毎日のように自分の言葉で発信し、社員のモチベーションを刺激し続ける。「いったん口にしたこと、書いたことには責任を伴う。私がぶれないから、社員もついてきてくれていると思う」。

いつも「全力」で挑み続ける

新たな事業を起こすアイデアは泉のように湧き出す。NTTが独占していた電報の市場に風穴を開けた「e-denpo」は、総務省に掛け合って115の開放までやってのけた。NTTの電報料金の3分の1、1,001円(現在は1,008円)の価格で2005年にサービスをスタート。当初、法人営業では「本当に届くのか」と新参者に冷たい日本の企業風土に戸惑ったが、今NTTに対抗する事業者としてシェアを伸ばしつつある。「本当にいいものはいつか必ず評価される。30年、50年先にこの事業を始めたのがレックだと思ってもらえれば」。

「デザインアルバム」「小さな結婚式」

「e-denpo」をそれぞれ業界のスタンダードといえるまでに育て上げた高橋社長。売り上げも震災の年の4億円から現在は100億円を超える。現在は、香港、台湾のブライダル市場をターゲットに日本で写真撮影する「インバウンドブライダルフォト」の事業に注力。「神戸を世界に発信する」という夢に着実に近づきつつある。

イントラネットで社員に発信した「全力」というタイトルの文章がある。「全力とは寝てもさめても実現する方法を考え続け、そしてやれることはすべてやりきる。やりきった上でまだ実現しなければさらに寝てもさめても考え続け、また考えついたことはすべてやりきる。この必死の知恵と勇気の行動が人生の夢、目標を実現できる法則です」。

今日も不可能を可能に変えるべく、高橋社長の挑戦は続く。

DATA

株式会社レック (KSGグループ)
 代表取締役 高橋 泉
 事業内容: デザインアルバム「ラヴィ・ファクトリー」、
 「小さな結婚式」、e-denpo
 設立: 1989年
 従業員数: 521名
 所在地: 神戸市中央区東川崎町1-3-3
 電話: 078-360-0908
<http://www.lec-net.com/>